

輸入 は 地金や合金スクラップが増加

アルミ原料供給は過剰気味か



橋本健一郎氏

橋本金属
・アルミ 橋本健一郎氏リポート②

九月前半は、中国貿易統計の結果が輸出は前年比二・八%減少、予想は四%減少、輸入は一・五%増、予想は四・九%だったこと、八月の米ADP民間雇用者数は一

七・七万人増加、七月の米中古住宅販売仮契約指数は前月比一・三%上昇したことなどのプラス材料もあつたが、八月の米製造業景況指数は四九・四と前月から三・二ポイント低下し、半年ぶりに好不況の境目とされる五〇を下回ったこと、ECB、政策金利を〇・〇%、量的緩和を月八〇〇億ユーロで据え置いたことを嫌気しLMEアルミ相場はDOWN、九月十六日時点、一五六・五ドル(現物後場買い)と月初価格から三七ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、八月の米小売売上高は前月比〇・三%減少、予想は〇・一%減少。自動車を除く小売売上高は〇・一%減少、予想は〇・二%増加、先日の米大統領選候補のTV討論会でクリントン氏六二%、トランプ氏二七%と、クリントンの優勢が伝わった事によるドル高などのマイナス材料もあつたが、日銀とFOMCの金融政策で、日銀は長期金利がマイナスにならない様に国債購入しながら金融緩和を続けるという長短金利操作付き量的・質的金融緩和は、長短金利の操作を行う「イルドカーブ・コントロール」を行うとの事、FOMCは年内の金融引き締め観測後退を好感しUP、十月四日現在LMEアルミ(現物後場)一、六五四ドルと後半スタート価格から九八ドルUPしてのスタートとなった。

◆月間のドル/円レート(TTS)
一〇四・三七―一〇一・九八(円)

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比八・八%増の六五万八、五一一台であった。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比三・七%増の三二万七、〇四八台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比二・五%増の八万二、二四二戸であった。

◆貿易関連指標

輸出
財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比八二・〇%増の二六九七、二次合金が一・九・四%増の一、七六二七、スクラップが六・六%減の七、八三〇七、アルミ缶が二七・八%増の五、一九七。

輸入
輸入は新地金が前年比一四・一%増の一〇万

八、九九九七、二次合金が一六・五%増の九万八、八六六七、スクラップが四三・六%減の四二一七、合金スクラップは一・〇%増の三、一一二七。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比二・五%増の一五万二、三四二七。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比三・五%増の五万八、九一七七であった。

■概況

【自動車生産】

八月の四輪車生産台数は六五万八、五一一台で、前年同月の六〇万五、〇七〇台に比べて八・八%の増加となり、三カ月ぶりに前年同月を上回った。

輸出は前年同月比一・五%の増加。(実績)

【自動車販売】

九月の国内自動車販売台数(軽除く)は三二万七、〇四八台で前年比三・七%増。二カ月連続プラス。うち、乗用車三・八%増、貨物二・四%増、バス一九・三%増。

【住宅着工数】

平成二十八年八月の住宅着工戸数は八万二、二四二戸で、前年同月比で二・五%増となった。また、季節調整済年率換算値では九五・六万戸(前月比四・九%減)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で二カ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は増、分譲住宅は減となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では七カ月連続の増加(前年同月比四・三%増、季節調整値の前月比では三・一%増)。

(貸家)

前年同月比では一〇カ月連続の増加(前年同月比九・九%増、季節調整値の前月比では一・一%増)。

(分譲住宅)

前年同月比では先月の増加から再びの減少(前年同月比一二・七%減、季節調整値の前月比では一二・四%減)。

(分譲マンション)

前年同月比では先月の増加から再びの減少(前年同月比三三・一%減)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一〇カ月連続の増加(前年同月比五・九%増)。(六面へ続く)

【四面より続く】
【アルミニウム二次合金 同合金地金等生産実績】
前年比三・五増の五万八、九一七と二カ月振りプラス、出荷は四・五増の六万二、〇五六と二カ月振りプラス。うち、出荷先別では、鋳物〇・九減、ダイカスト七・九増、板九・七減、押出六・三増、鉄鋼一五増、合金地金メーカー二・八減。

【アルミ圧延・押出品生産数】
二・五増と三カ月振りプラスの一五万二、三四二。

板類、生産は三カ月ぶりにプラス、出荷もプラスに転ず(出荷は先月の六・六減↓七・一増へプラスに転ず)

【輸出】アルミ新地金が前年比八二・〇増の二六九七、二次合金が一九・四増の一、七六二、スクラップが六・六減の七、八三〇、アルミ缶が二七・八増の五、一九七。

【輸入】アルミ新地金が前年比一四・一増の一〇万八、九九九七、二次合金が一六・五増の九万一、八六六七、スクラップが四三・六減の四二二七、合金スクラップが一・〇増の三、一一二七。

【見通し】

・自動車は生産が八・八増。九月の国内販売台数が前年比三・七増。生産が三カ月ぶりプラス、販売が二カ月連続プラス。生産が大幅増。今後の動向に期待。

・住宅着工の動向については、前年同月比で二カ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は増、分譲住宅は減となった。

・引き続き、今後の動向をしつかりと注視していく必要がある。

・アルミ圧延・押出品は生産・出荷共にプラス。板類の輸出は二カ月ぶりプラス。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等実績は、生産出荷ともに二カ月ぶりにプラス。

・輸出 内需の低迷を受けて新塊、二次合金、アルミ缶は大幅増加。スクラップは円高要因から減少。

・輸入 自動車関連の二次合金、合金スクラップは共に増加、スクラップは減少。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、自動車生産、住宅着工、二次合金などの生産増はあるが、円高を受けての安い輸入塊の流入から需給は過剰気味になるのではないか。

【価格・為替予想】

今月は、国慶節明けの中国経済とドイツ銀デフォルト懸念に左右される。

国慶節明けの中国に関しては、やはり現在の習政権で有効な景気対策、金融緩和策などを打つとは思えず、鉱工業生産などを初めとする経済指標の一喜一憂する状態が続くのではないか。

ドイツ銀デフォルト懸念に関しては、米司法省からの和解金一・四兆円の他、デリバティブ商品を七五兆分も持っているとの事、これに関して独メルケル首相は救済しないスタンスがある一方で、ダイムラーやミュンヘン再保険、シーメンス、ドイツ取引所を含むDAX指数構成企業の首脳らは独紙フランクフルター・アルゲマイネ(FAZ)日曜版とのインタビューで独銀支持の結束を表明するなどの報道もあり、即破綻とはならないのではないか？

それらを踏まえた十月のアルミ価格は、国慶節明けの中国で効果的な金融政策or景気対策が行われ、独銀に関して救済or支持などの報道がなされた場合、一、八〇〇ドルを予測。いずれかの場合は一、七〇〇ドル。下値はいずれの場合も達成できなかった場合、七月安値の一、六〇〇ドル。

為替は米大統領選におけるクリントン氏VSトランプ氏のTV討論会のCNNの調査でクリントン氏六二%、トランプ氏二七%と、クリントン氏の優勢が伝わった事によるドル高圧力もあるものの、金融緩和の年内後退からの円高圧力もあり現在の一〇一円近辺からほぼ変わらさずではないか？

それらを踏まえ予測は、上値は年内の米金取引締め観測がこのまま後退していき、大統領候補予測にトランプが有利な報道がなされた場合、一〇〇円台(TTM)を予測。両条件が揃わなかった場合現状の一〇一円を予測。スクラップ購入価格に関しては五円安、〇円程度と予測している。

◇KLTMすず相場

七日 二〇・〇二〇 米ドル
四一 トン

◇東工取(七日前引、限月十月)

金 四、一八五円
銀 五七・六〇
白金 三、二三八円
パラジウム 出来ず